

平成30年7月吉日

# ダイイチ基礎ニュース

## 平成30年 第37号

### 第一基礎設計株式会社

大阪市淀川区三国本町1-5-36

TEL (06)6396-0639

(06)6396-0700(マイコマ専用)

FAX (06)6395-6900

URL <http://www.d1ks.co.jp>

初夏の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

昭和60年に関西地区でマイコマが住宅基礎に初めて採用され30年余りが過ぎようとしております。

また、平成5年には関西空港内消防署基礎にマイコマ約3600個が採用されました。その用途も土木建築分野で多岐にわたり、全国でも相当数の基礎に使用され、関西大地震でもその耐震性が実証されています。

近年マイコマの良さ(施工性や経済性)が見直され、その施工例が増えてまいりました。

設計者の皆様には、無残土・無振動で環境にやさしいマイコマ基礎工法の採用を  
願致します。

今回は建築物と機械基礎のトップベース工法採用事例をご紹介します。

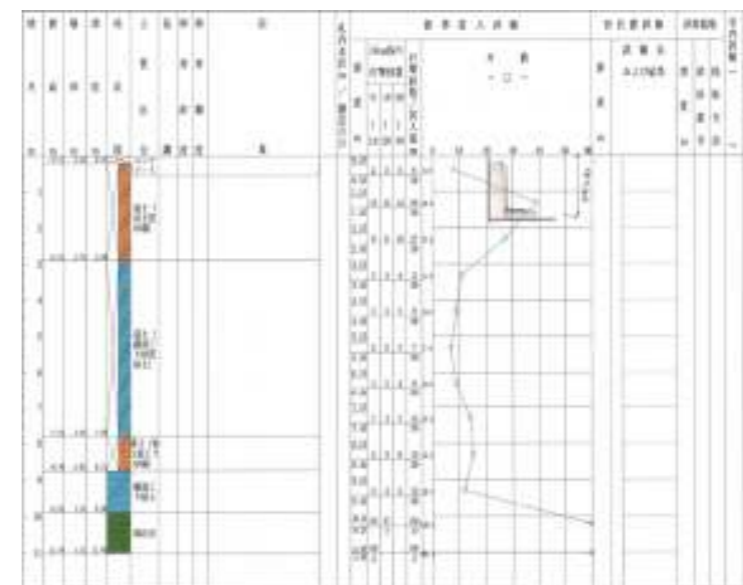
1件目は工場内機械基礎の採用事例です。

本事例のように工場が稼働しながら、又杭打機が入らないような現場でもトップベース工法なら  
施工が可能です。

狭隘地、埋立地、杭長が長くなる軟弱地盤、本事例のように搬入路が狭い現場がございましたら  
是非一度、第一基礎設計(株)までお問合せください。

—工事概要—	工事名称	某新築工事
	工事場所	兵庫県
	工事期間	平成30年4月 (工期約2日)
	建物規模	機械基礎
	基礎施工	第一基礎設計株式会社
	マイコマ個数	6連コマ 14基 単コマ 4個 (延 88個)

柱状図



施工写真



2件目は工場建屋基礎に採用された事例です。

現場は谷を30m以上盛土しており、砂礫・硬質粘土が点在しておりました。

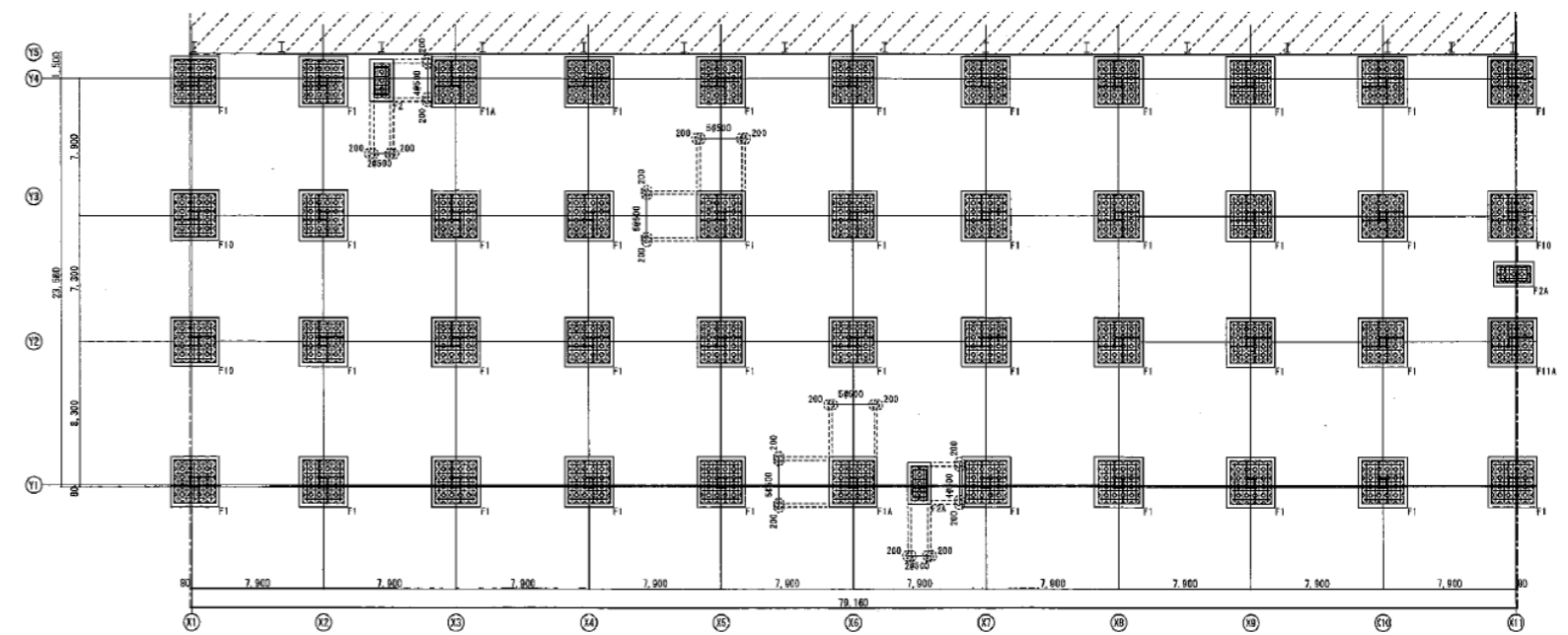
この為、杭の施工が困難であると予想され(支持層が深く杭長が長くなり又

施工コスト増大と工期の問題が生じました)表層で支持できる工法はない

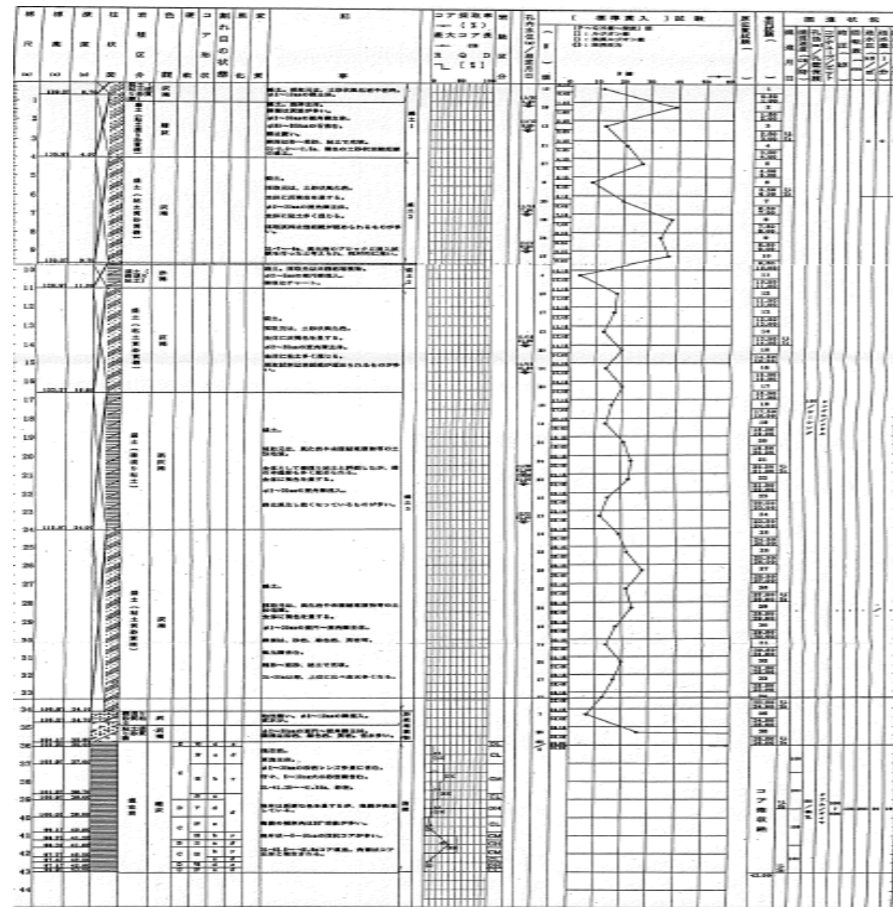
かとの事でトップベース工法を提案しました。

一工事概要一	工事名称	F新築工事
	工事場所	京都府
	工事期間	平成30年4月 (工期約17日)
	建物規模	S造 2F
	施工	第一基礎設計株式会社
	コマ個数	マイコマ6連基 315基 単コマ 58個 合計1948個

マイコマ配置図

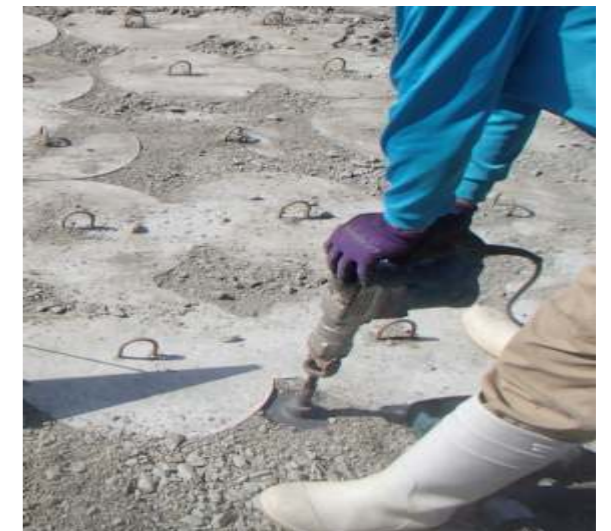


柱状図



(トップベース工法とは特殊なコマ型コンクリートブロックと間詰砕石からなる構造物基礎を形成する工法です。)

転圧状況



敷設状況



施工完了

